



渡島地方本部ニュース

【 発 行 】

自治労渡島地方本部
 執行委員長 川村 哲也
 〒041-0806
 函館市美原 4-6-16
 TEL 0138-34-2357
 FAX 0138-34-2358

組合員にどんどん情報提供を！

読みやすい教宣紙をつくろう！



道本部 引地教宣部次長

7月5日、北斗市かなで〜るにおいて、渡島地方本部は、基本組合と青年部を対象に教宣学習会を開催した。

冒頭、柴田書記長より、組合員への情報提供は、職場集会や職場オルグを通じて行われるが、一番身近なものは、単組が発行する教宣紙である。

今日の学習会で学んだことを活用し、各単組での更なる教宣紙の発行に繋がってもらいたいとあいさつがあった。

学習会では、道本部引地教宣部次長が講師となり、教宣紙づくりの重要性や注意する点等について講義を行った。例題の文章を要約する課題では、読んでもらうには、大胆な編集が必要、見出しは要約の極みのため、説得力のある見出しをつけること等、読んでもらう教宣紙づくりについて丁寧に提起がされた。

その後、パーソナル編集長の体験版ソフトを活用したパソコンによる教宣紙づくりを行った。教宣紙の中身の記事は、本日の教宣学習会と、各単組の取り組みの状況とし、講義で学んだことを参考としながら紙面づくりが行われた。



講師の話に聞き入る参加者



福島町職労 西村さんの教宣紙 (ほぼ完成しました。すごい！)

参加者を代表して3名の方の教宣紙について、講師より、それぞれ講評が行われた。コラムの作成や写真の配置等の工夫により紙面が読みやすくなるなど、具体的なアドバイスがあった。

学んだことを、実践することが重要！

最後に、今日の教宣学習会の内容について、各単組で教宣紙を発行し、地本へ提出することを約束し、学習会を終了した。

参加者 1総支部・11単組18名(うち青年部9名)

つぶやき

教宣学習会を開催した。だけど、各単組で教宣紙を発行しなかったら学習会の意味がない。だから・・・発行するまで、しつこく確認し続けると決めました。

ちなみに、1週間以内に作成しなかったら記憶が薄れて面倒くさくなるので注意(し)